



は づ し ょ う 羽津小だより

令和6年9月11日 発行
四日市市立羽津小学校
文責 校長 酒井 智子
No. 7

ぜんこくがくりょく がくしゅうじょうきょうちようさけっか 全国学力・学習状況調査結果

今年度の全国学力・学習状況調査は、4月18日(木)に全国の小中学校で実施されました。この調査は、学力向上を目指して、指導内容や指導方法の改善、生活指導に役立てる目的で行われているものです。本校でも6年生が、国語・算数の2教科と児童質問紙(生活習慣や学習環境に関するアンケート)による調査を受けました。その全国学力・学習状況調査の結果が夏休み中に学校に届きました。調査を実施した6年生には結果の個票を先日返却しました。

調査から測定できるのは、子どもの学力の一部であり、学校の教育活動の一側面ではありますが、結果をもとに学校と家庭が協力して、教育活動や児童の学習状況の改善につなげていくことが大切です。そこで、今回の結果から見えてきた本校の特徴についてお知らせします。

1. 学力調査からみられる羽津小学校の特徴(強みと弱み)



【国語】全国平均正答率を上回る結果となっています。

- 「目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる力」が全国よりも8%高い。
- 「書くこと」「読むこと」はそれぞれに5~7%高い。正答率は、おおむね全国よりやや高かったが、全国的に苦手と見られた分野での正答率が高かったことが強みといえる。
- 全国平均との比較を経年で見ると、R3年度より継続して全国平均を上回っている。このことから、本校の国語の学力が安定しているといえる。
- すべての項目で全国平均を上回っており、特に課題は見られないが、記述問題では全国平均よりも無回答率が高い。文章で表現することを苦手としていると考えられる。

【算数】全国平均正答率を上回る結果となっています。

- 全体の平均正答率は全国より高く、正答数の分布をみると、16問中10~15問正答の割合が高く、下位層の割合が低いところが強みである。
- 「除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解しているか」という問題では、全国より9%高かった。「除数が小数である場合の除法の計算をすることができる」という問題においても、全国より5.9%高くなっている。このことから、小数の割り算の基礎理解ができていることがわかる。

- 問題形式別の正答率では、記述式が全国より下回った。どのようにして答えにたどり着いたか表現する部分が弱いと考えられる。

2. 児童質問紙からみられる特徴（学習・生活の状況に関して）

- 「人が困っているときは進んで助けていますか」の肯定回答が90%を超えている。「人の役にたつ人間になりたいですか。」の質問に「当てはまる」と答えた児童の割合も多くなっている。積極的に人を助け、人のためにできることをやりたいと考えている児童が多いことがわかる。
- 「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」の肯定回答が、全国比で8.7%高い。自ら学ぶ姿勢がついてきていることがうかがえる。
- 「6年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」の質問に「ほぼ毎日」が全国と同程度、「週3回以上」が全国比10%高かった。高学年で日常的にICT機器を活用している様子がわかる。
- 「自分にはよいところがあると思いますか」の問いに「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」と答えた子の割合が全国平均よりも高く、子どもたちの自尊心の低さが伺える。様々な場面で子どもたちを認め、自分に自信を持てる取り組みを続ける必要がある。

3. 調査結果をふまえた今後の取り組みについて

全国学力・学習状況調査の結果分析を踏まえて、全学年で子どもたちが主体的・対話的に学んでいけるよう、授業改善に取り組んでいきます。また、「子どもが自ら学びを調整する力」を育てることも大事だと言われています。例えば疑問に思ったら、タブレットを使って自分ですぐに調べる、自分の伝えたい方法で発表原稿の準備をする（写真、イラスト、動画、グラフ、表）、自分で決めた課題に取り組む（苦手問題・発展問題に挑戦：ドリルパーク）などです。一人一人が自分の学びたいことを決め、主体的に取り組む姿を自指したいと思えます。

これまでの調査から、子どもたちの自己有用感・自尊心が高いと、学力向上につながるということがわかっています。とても頑張った時や、その結果だけをほめるのではなく、「今できていることを認める」「あなたのよいところは〇〇だよ。」「〇〇してくれてありがとう。」などをこまめに伝えていきたいと思えます。その上で、「がんばってよかった」「やればできる。」という達成感が持てるよう、子どもたちに声掛けをしていきたいと思えます。ご家庭でも子どもたちの自尊心が高められるよう、今後とも協力よろしくお願い致します。

